

一般講演（口頭発表）におけるプレゼンテーションについて

本大会の一般講演での口頭発表は、すべて PowerPoint または Adobe Reader による発表形式で行います（スライドや OHP、ビデオは利用不可）。PowerPoint で PPT ファイルを作成するか、あるいは Adobe Reader で表示可能な PDF ファイルを作成して持参し、それぞれの発表会場のノートパソコンを使用して発表してください（ご自身のパソコンは接続不可）。なお、大会ウェブサイト（<http://59.odokon.org/>）には最新の情報を掲載する予定です。

（1）使用パソコン、ソフトソフトについて

各会場のノートパソコン（OS は Windows 7）には Microsoft PowerPoint 2010 for Windows および Adobe Reader X がインストールされています。 PowerPoint 2003 で作成したファイル（拡張子 ppt）も読めますが、事前にプレゼンテーションファイルと関連する動画ファイルなどを CD-R 書き込んでから、プレゼンテーションを作成したパソコン以外の、PowerPoint 2010 がインストールされたパソコンでファイルを再生し、動画や画像が正しく表示されるか、文字のずれ等がないかご確認ください。

（2）使用メディアについて

使用可能なメディアは CD-R（650MB か 700MB）のみです（これ以外のメディアは使用不可）。 講演番号と氏名をディスク本体とハードケースの両方に、油性マジックペンなど先の柔らかいものでご記入ください。ディスクはレーベル面に直接ご記入ください。ご自身で対処できない場合は、大会事務局まで早めにお知らせください（大会事務局では空の CD-R を用意しません）。

（3）講演用ファイルについて：ファイルサイズは小さめにしてください。

ファイル名は必ず「講演番号.pptx、講演番号.ppt または講演番号.pdf（例：A101.pptx、A101.ppt または A101.pdf）」としてください（プレゼンテーションパックの場合はフォルダの名前を講演番号）。 特に Macintosh をご使用の方は、拡張子（.pptx、.ppt または.pdf）のつけ忘れにご注意ください。また、メディアには単一の講演ファイル（動画のある場合は PowerPoint のファイルとリンクした動画ファイルのセット）、またはプレゼンテーションパック以外には入れないでください。お預かりしたメディアから、講演ファイルをノートパソコンにコピーします。ファイルサイズがあまりに大きいと、コピーに時間がかかりすぎる等、講演に支障が生じることがあります（なるべく小さめに、動画を含めずに数 MB、含めても数十 MB 程度）。コピーした講演ファイルは、大会終了とともに事務局にて確実に消去します。

（4）動画の再生について

使用する動画は、追加のコーデックを何もインストールしていない状態の Windows Media Player ver. 10 で再生できる形式に限り（DivX、MPEG2 などにエンコードされた動画は再生が保証できません）。動画ファイルは、講演ファイルと同一階層と一緒にコピー

ーしてください。コピー後に、作成したパソコン以外からプレゼンテーションを実行し、リンク切れがないかご確認ください。

(5) 会場入りについて：早めにお越しください。

講演者は自分の発表の少なくとも 30 分前には会場にお入りください。前の講演者の発表が始まったら、講演用ファイルを入れた CD-R をケースごとオペレータにお渡しください。オペレータは講演用ファイルをノートパソコンにコピーし、これをスライドショーとして起動して、講演開始とともに最初のスライドをスクリーンに投影します（1 枚目のスライドはタイトルとすることをお勧めします）。講演時は、マイク（大会場）およびレーザーポインターをご使用ください。原則として、講演者がコンピュータを操作（リモコン操作）します（不都合な場合はオペレータが操作）。時計係は予鈴 10 分、本鈴 12 分（講演終了）、終鈴 15 分（質疑応答終了）にそれぞれ、1 回、2 回、3 回ベルを鳴らします。時間経過を確認しながら、超過のないように発表をお進めください。講演終了後は次の講演の座長をしてください（午前と午後の最初の講演の座長は、大会事務局が手配）。座長席にいる間に CD-R を返却します。なお、午前と午後の第 1 番目の講演者の方は、講演時間の 15 分前までに CD-R を発表会場のオペレータにお渡しください。

(6) 講演ファイルのウイルスチェックおよび試写について

発表前必ず PC ルームにて、講演ファイルのウイルスチェックと試写をしてください。Macintosh をご利用の方は特にご注意ください。ここでいう試写とは、講演ファイルを PC ルームのパソコン（会場と同等のパソコン）で再生することを意味します。メディアに関する不測の事態に備えて、講演ファイルを保存した CD-R の他に、同じファイルを保存した USB メモリー、空の CD-R を持参されると良いでしょう。ただし、USB メモリーによるファイルの受け渡しは PC ルームに限られます（会場では CD-R のみ）。PC ルームには会場と同型のリモコンを用意しますので、あらかじめ操作方法をご確認ください。